



**2024-2025**  
**No.1760**  
**2024.9.5**

会長：金井康二 幹事：古池好幸  
会員数：50(内2名特別会員) 会場出席：26 欠席：24  
出席率：54.17% 前回出席率：72.92%  
点鐘：金井康二 会長 司会：原澤ふじ子 SAA  
国歌斉唱  
ロータリーソング：それこそロータリー (ソングリーダー：石田宇平)  
例会会場：ホテルペラヴィータ 3F 12:30～

**来訪ロータリアン**



国際ロータリー第2840地区  
ポリオプラス・資金推進委員会 水石清治 委員長(沼田RC)

始め、会員の皆様が温かく楽しく盛り上げてくださり大変にありがたかったです。今後も精進いたしますので機会がありましたらぜひお声掛けいただけたらと思います。どうか中央ロータリーの皆様によりしくお伝えください。』との内容でした。

**幹事報告**

古池好幸 幹事



- ①本日例会終了後、理事会を開催致します。理事・役員の方は出席願います。
- ②次年度ガバナー補佐選出について、2回目のバスト会長会を9月12日例会終了後に開催致します。
- ③ガバナー月信9月号が出来ておりますので、地区ホームページよりご覧ください。
- ④各クラブから例会変更のお知らせが届いています。メイク等検討されている方は幹事まで連絡下さい。

**会長の時間**

金井康二 会長



皆さんこんにちは。9月はロータリーの『基本的教育と識字率向上月間』そして『ロータリーの友月間』になります。ロータリー月間とは、国際ロータリー（RI）が月ごとに定めたテーマになります。

さて、前回のアロハ例会では会員の皆様には大変お世話になりました。フラダンサーの皆様をうまく盛り上げていただき、さすが経験豊かでパーティー上手なロータリアンと感服致しました。

また、その時に伺った話ですが、踊りをされた皆様は全員が利根沼田在住だそうです。ですから踊られた方のお名前を聞けば、友人の奥様やお取引先の奥様、もしかしてご自身のご親戚の方かもしれませんね。

会員皆様のダンサーに対しての温かいおもてなしのお陰で、ダンスも気持ち良く出来たかと思えます。そして結果として、沼田中央ロータリークラブを知っていただくための良い宣伝にもなりました。

終わりに、『谷間のゆりフラシスターズ・マウラニ』代表の岡村様から紹介者に届いたメールをご披露致します。『ご紹介いただいた中央ロータリークラブさんのフラショーは昨夜無事に終わりました。担当の小澤委員長様を

**出席報告**

富井 潤 委員



**本日のランチ**





ポリオプラス・資金推進委員会 水石 清治 委員長(沼田RC)  
沼田まつり初日のポリオ根絶キャンペーンでは、皆様にご大変お世話になりました。有難うございます。

金井 康二・古池 好幸

朝夕の風に秋の深まりを感じるようになりました。気温差が激しくなる季節のため、会員の皆様、お風邪などひかぬようお気をつけてください。

生方 眞司

妻の誕生日にお花をいただきありがとうございました。



古池幹事より、10月末から11月の開催に向けて準備が進んでいるとの報告がありました。



金井会長より、9月19日夜例会での『沼須人形芝居あけぼの座』公演に向けて紹介があり、今回の公演では投げ銭も体験してほしいとの事で説明がありました。

投げ銭とは、ストリートミュージシャンや大道芸人のようなパフォーマーに対し、パフォーマンス中に称賛を兼ねた少額の金銭を投げて渡す行為のことである。置いてある箱や帽子などに金銭を入れることもある。箱などに金銭を入れるような場面は現代でもしばしば見受けられるが、昔ながらの投げる投げ銭は日常的に見かけることは少なくなっていると思われる。

大衆演劇など好んで投げ銭を採用している例は現代でも見受けられる。投げ銭は、単純に金銭によって報酬を与える以外に、場を盛り上げる役割を果たす。また屋外の無造作な雰囲気や日本特有の大道芸の雰囲気を演出する役割もあると考えられる。

投げ銭は小銭をそのまま投げてよいが、紙に包んで投げることも多い。その際の紙も色の付いたものや古紙など様々である。この他5円玉のような穴のあいた硬貨の場合、紙を結ぶ場合もある。投げる先は舞台上である。特に色紙の場合、舞台上に投げ銭が増えるほど華やかになる。包み紙は芝居の場合、劇団が配布するか紙に包んだ小銭ごとと売する場合などもある。

投げるタイミングは上演中のいつでもよいとされているが、通常は観客が「おもしろい」「がんばっている」と心動かされた瞬間に投げる。誰かがそう判断したことが役者にも周りの観客にも伝わることで、ますます芝居が面白くなる仕組みである。

という事で、会員の皆さんもぜひ投げ銭の面白さを体験してみてください。



地区のポリオプラス・資金推進委員会の水石清治委員長(沼田RC)より、沼田まつり初日に行った『ポリオ根絶キャンペーン』へのお礼の言葉を頂きました。



会員の皆さんへ今年度の寄付金依頼がありました。